

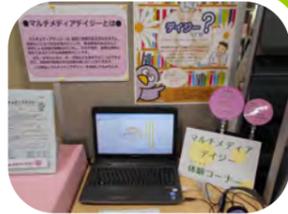
見て・聴いて・感じる読書

埼玉県立図書館では、印刷された文字が読みにくい方の読書をサポートするさまざまな形態の資料をご提供しています。今回はその中から特徴的な資料と、久喜図書館2階公開図書室に新設した「見て・聴いて・感じる読書コーナー」をご紹介します。

<ご利用いただける方> 視覚障害のほか、高齢で文字が見えにくい方／ひどく疲れるなど集中して読書が出来ない方／本などを読んでも、内容が理解しにくい方(発達障害等)/身体の障害などで本をもったりページをめくって読むことが出来ない方などです。利用をお考えの方は、お気軽にご相談ください。(障害者手帳の有無は関係ありません。)
久喜図書館 障害者サービス担当 電話：0480-21-2729

マルチメディアデージー

マルチメディアデージーは、文字や音声、画像を同時に再生できるデジタル録音図書です。文字の大きさ・色・読む速さなどを変更できるので、高齢者や弱視の方も、読書を楽しむことができます。パソコンやスマートフォン、携帯タブレット、専用再生機等でご利用いただけます。デージーの中にはインターネットから直接ダウンロードできるものもあります。



マルチメディアデージー体験コーナー



↑マルチメディアデージー版教科書「ごんぎつね」。音声で読み上げている部分が一目で分かるように、該当箇所色がついています。

司書おすすめのマルチメディアデージー

●わいわい文庫シリーズ

「はらぺこあおむし」などの絵本から「魔女の宅急便」などの読み物まで約130タイトルの児童書を楽しめます。教科書を除くデージーは図書館から貸出しています。

●マルチメディアDAISY教科書

発達障害などの障害により、活字による読書が苦手な子どもたちのために製作された教科書。＊詳細は、以下へお問い合わせください

(公財)日本障害者リハビリテーション協会 情報センター DAISY担当宛 TEL：03-5273-0796

LL (エルエル) ブック



図書の内容を理解するのが困難な人にもわかるように、文章を短くわかりやすく書き直してあります。また、図や写真を多く使うなどの工夫もされています。

音声デージー

図書や雑誌などを音声で聞くことができます。読みたい見出しやページに飛ぶことができ、1枚に50時間程収録が可能です。



点字資料・ユニバーサル絵本

点字は、50音を6つの点の組み合わせにより表記する触読文字です。点字に加え、絵もさわって分かるようにした絵本をユニバーサル絵本といいます。障害のある方もない方も同じように絵本を楽しむことができます。



すべての人に
図書館サービスを！

活字を読むのが
難しい方のために

布絵本

ボタンやひもなどを使って、絵のパーツを動かしたり取り外したりすることができる布絵本をパネルで紹介しています。



約80タイトル所蔵し、県内の特別支援学校(級)や障害児(者)福祉施設などの団体に貸出します。

発達障害に関する資料コーナー

※このコーナーの資料はどなたでもご利用いただけます※

発達障害は、生まれつき脳の発達が通常と違っているために、日常生活や学習の面で苦手な部分があったり、生きにくさを感じることがあります。

近年、発達障害について徐々に理解が進んできています。埼玉県でも、発達障害対策を重点プロジェクトに位置付け、早期発見のためのサポーター育成や、就労支援センター、地域療育センターなど支援施設の整備など多様な事業を行っています。



発達障害関連図書展示に加え、支援機関・相談窓口・親の会のパンフレット、図書館作成の調べ方案内、資料リスト等を配布

例えばこんな本が… 司書のおすすめ本

「新・発達が気になる子のサポート入門 発達障害はオリジナル発達」(阿部利彦著 学研教育出版 2014.3) 発達障害児支援現場のエキスパートである著者が「ちょっと気になる子」の「いいところ」探しや、個性を伸ばすコツを温かいまなざしで語ります。子育てや人間関係一般にも応用できる気づきが満載の1冊です。



おすすめ児童書 「ありがとう、フォルカーせんせい」

(パトリシア・ポラッコ作・絵 香咲弥須子訳 岩崎書店 2001.12) 字を読んだり書いたりするのが苦手なトリシャ。彼女には、文字がくねくねした形にしか見えません。悩む彼女を支え、言葉の世界へ導いたのは、ある先生との出会いでした。著者自身の経験をもとに描かれた絵本です。



障害者の権利に関する条約と図書館のサービス

「障害者の権利に関する条約」と、それを元に制定された「障害者差別解消法(略称)」では、2016年4月から「障害者への合理的配慮」を図書館等公的機関に義務付けています。障害者への合理的配慮とは、個々の障害者からの依頼に対し、過度な負担にならない範囲で合理的に考えてできることを行わなければならないというものです。→

→ 例えば、大活字本や録音図書等の収集、郵送等のサービス、職員による支援が含まれます。埼玉県立図書館では障害の有無に関係なく誰もが使える図書館を目指して、さまざまな障害者用資料の製作・収集及び提供を行っています。これからも多くの障害者や高齢者が図書館を利用できるように努めていきます。